

事 務 連 絡
令和3年1月13日

各都道府県教育委員会施設主管課
各指定都市教育委員会施設主管課
各都道府県私立学校主管部課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課
各国公私立大学施設担当部課
各国公私立高等専門学校施設担当部課
各大学共同利用機関法人施設担当部課
各文部科学省独立行政法人施設担当部課
各文部科学省国立研究開発法人施設担当部課
日本私立学校振興・共済事業団施設担当部課
公立学校共済組合施設担当部課

御中

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課

学校施設等におけるアスベスト（石綿）の適切な維持管理等について

学校施設等におけるアスベスト対策については、児童生徒等の安全対策に万全を期すため、これまでも「学校施設等における石綿含有保温材等の使用状況調査（特定調査）の結果について（通知）」（令和元年8月30日付け元文科施第172号）^{※1}等により、適切な対応をお願いしてきたところです。

今年度予定していた保温材等の調査については、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し中止することとし、来年度の実施を予定していますのでお知らせします。

なお、アスベストは経年等による劣化、損傷等により繊維として空気中に浮遊した状態にあると、人が吸入した場合、健康障害の原因になり得ます。そのため、アスベストを保有する機関においては、学校施設等の利用者の健康障害を予防するため、当該部分の適切な維持管理を徹底することや利用者へ危険性等の情報共有を行うことが必要です。については、下記のとおり引き続き適切な対応をお願いします。

このことについて、都道府県教育委員会においては域内の市区町村教育委員会に対し、都道府県私立学校主管部課においては所轄の私立学校（専修学校、各種学校を含む）に対し、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社及び学校に対して、それぞれ周知いただくようお願いします。

記

1. 維持管理等について

- ・保有するアスベストが措置済みであったり、劣化、損傷等がなくても、今後、経年による劣化、損傷等のおそれがあることから、定期的な点検・維持管理を行うこと。
- ・新たに未措置のアスベストが確認された場合は、その損傷、劣化等の状況を把握し、必要に応じて専門業者等に相談の上、必要な対策を講じること。また、既に確認しているものを含め、速やかに除去や囲い込み等の処置を講じること。

2. 情報共有等について

- ・アスベストに関する関係書類は、学校等の設置者が適切なアスベスト管理を行うために必要な資料であるため、保存管理を徹底すること。
- ・また、文部科学省において、アスベスト対策の実施状況の調査等を行うこととしているため、調査等の関係書類は保存しておくこと。特に、担当者が変更となった際等に、過去の経緯が不明とならないよう、調査結果等を、組織として適切に引き継ぐこと。
- ・アスベストは、その繊維が空気中に浮遊した状態にあると危険であると言われていることから※²、アスベストの存在とその状態、立入禁止等の処置状況等について、児童、生徒、学生、教職員、保護者等の学校関係者やその他の学校施設の利用者に対し、できる限り速やかに、かつ、きめ細かに説明すること。

※1 「学校施設等における石綿含有保温材等の使用状況調査（特定調査）の結果について（通知）」
（令和元年8月30日付け元文科施第172号）

https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1420575.htm

※2 「アスベスト（石綿）に関する Q&A」

（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/sekimen/topics/tp050729-1.html

（参考）

「石綿と健康被害＜概要版＞」（パンフレット）

（独立行政法人環境再生保全機構ホームページ）

<https://www.erca.go.jp/asbestos/what/kenkouhigai/pdf/gaiyou.pdf>

（本件連絡先）

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課
指導第二係 福山、小玉

TEL 03-5253-4111（内線 2292）

E-mail shisetulead-2@mext.go.jp